

そば風に食べすむ。1/3も食
べた所で、これは体を壊すなく。
あきらめよう、行儀の良い撤退方
法が頭によぎる。なんとか具と麵
に沈めてごまかそう作戦に入る。
スープを極力飲まず固形物を口に
運ぶ。ここでアブラがきいてきた。
ノックアウト寸前です。というよ
り、身体が反応、脳の許可なしに
腕がラーメン鉢をカウンターの上
へかたずけていた。申し訳ありま
せんでした。『味は良いのですが、
ちよっと体調が』と、ラーメン鉢
でおさらばする動作を口が実行し
てしまいました。このラーメン
はすごいです。加西の『麵匠・柳』
さん皆様も是非行って下さいね。
決して豚麵は注文しないように。
ラーメンにも2枚位チャーシュー
はのってます。また50才以上の
人はミニ麵をオーダーされる事を
忠告いたします。またマシWは絶
対やめて下さいね。身体を壊しま
す。

レガシード「TRUST 研修」を受講してきました

営業 尾上 健太郎

今日は先日、
東京にある
株式会社レ
ガシード様
が提供する
『TRUST
研修』を受
講してきた

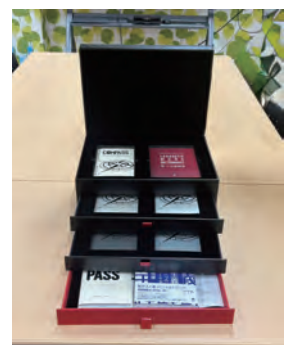


話を出来ればと思います。まず、
私がレガシードを知ったのは受
講する少し前になるんですが、
弊社宛に大きな玉手箱が届きま
して、そこには経営の方針やルー
ルなどが記載されている過去の
手帳が入っておりまして。特殊
な包装に入っていると気になっ
てしまいますよね。それで今回
の研修なのですが、『一枚岩の経
営を目指す幹部主導型組織づく
りプログラム』として、組織を
より強く成長させるために必要
な考え方や、幹部として果たす
べき役割について学ぶ内容でし
た。企業が成長し続けるために
は、経営者だけが方向性を示す
のではなく、幹部一人ひとりが
会社の想いや目標を深く理解し、
自ら考え、行動することが重要

です。そして、その積み重ねによっ
て社員全員が同じ方向を向き、強
い組織へと成長していくのだと感
じました。研修では、組織におけ
る信頼関係の重要性や、組織運営
においての考え方について学びま
した。特に印象に残ったのは、組
織づくりは制度や仕組みだけで完
成するものではなく、一人ひとりの
意識や日々の行動によって築か
れていくものだということでした。
幹部が会社の方向性を理解し、主
体的に行動することで、その想い
は周囲の社員へと伝わり、最終的
には会社全体の力になります。目
の前の業務に取り組むだけではな
く、なぜこの仕事をするのか、お
客様にどのような価値を届けたい
のか、という目的を共有すること
が、強い
組織には
欠かせな
いと改め
て実感し
ました。
ベンハウ
スは、事
務用品や



OA機
器、IT
サービ
スを提
供する
会社と
して、地



域のお客様の業務を支える存在
でありたいと日々考えています
が、お客様へより良い価値を提
供し続けるためには、取り扱う
商品やサービスだけではなく、
それを支える社員同士の連携や、
一人ひとりが成長し続ける姿勢
が重要だと思っています。今回
の研修で得た学びを、日々の業
務や社内でのコミュニケーション
に活かし、社員全員が同じ想
いを持って挑戦できる組織づく
りにつなげていきたいと思いま
す。これからベンハウスは、
お客様から信頼され、地域に必
要とされる企業であり続けるた
めに、社員一人ひとりの成長と
組織力の向上に継続して取り組
んでいきます。また、姫路でも
レガシードのセミナーの開催を
考えておりますのでその時は是非
参加して下さいね。

BEN STYLE

第249号

BenHouse

(記事はあくまでも個人の私感でございますので悪しからず。)

www.benhouse.co.jp

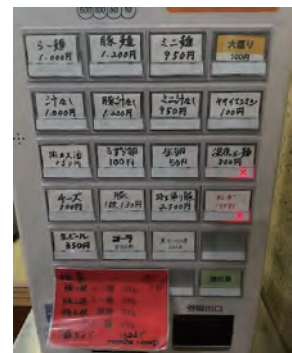
「にんにく入れますか？」
マシマシW

尾上大輔

この間加西市を車で走っていて、看板に見入る。『にんにく入れますか？』京ちゃんとは絶対行かんやろな。話す前に却下確定やな。とりあえず京ちゃんをイオン加西へ送り出して、大ちゃんとは帽子をかぶって出発。『どこへ行くん？』『ちよっと散歩』と言って出かける。今日は北条町の東の方へと向う。ちよっといっても90分は歩くな。なんせ、『まち探険』大好き人間なんすよね。『い



か山の上にモニュメントが気にはなるが登り道20分か？やめとく、やめとく。玉丘古墳公園を少し散策したあと、イオン方面へ戻る。そこでまた見てしまった『にんにく入れますか？』いや、15時だし、晩ごはんには早いけど、何度中をのぞいてしまおう。『うくん、ちよっとだけ』なんて入ってしまった。座敷に4テーブル・カウンターのラーメン屋さん。自販機でチケットを買うらしい。ラーメン1000円豚麺1200円とな。但し書が『女性の方、お子様はミニがおすすです』初めてのの方は大盛は食べれないと思います』と書いてある。じゃ豚麺1200円普通に決定。チケットを見るとニンニク0。少・普通・マシ・マシW(ましまし)なんて書いてあ



る。希望に赤マジックで〇で囲む。『にんにくマシWヤサイマシWアブラ普通』これで、注文しました。だってにんにく好きやもんね。となりの席に大盛ラーメンが来た。さすがに大盛は量が多いね。二郎系ラーメンと書いてある。二郎系とは三田の大学そばに『ラーメン二郎』がありました。2・3回食べたかな。どうってことなかったが。ついに大ちゃんの番が来ました。『うくん』とカウンターに置かれた普通盛、あれれみんなが食べていた大盛と同じじゃん。『ていう事は普通盛りでもこの量？』『ラーメン鉢の上には200gの麺とにんにくマシWヤサイマシWアブラ普通、超厚焼豚マシWのシロモノが』がくん』とやってきた。さっそく京ちゃんにLINE『今日はにんにくラーメン食べてもたんでごはんにいりませ〜ん』食べる前にちゃ



んと言ったかないと、罪深き、ごまかし不可のマンモスラーメンです。まずはモヤシから食べますかね、ギャル曽根モードに変身。なんとか食べきる為にはと、作戦が頭によぎる。やっぱりモヤシからかかる。焼豚をよけながら、モヤシをいただく。にんにくがきいている。アブラもきいてきた。モヤシモヤシと進むが、一向に麺が見えてこない。うくん、ちよっと焼豚へ行く。『うくんが厚い1センチ厚・ポークチャップやん』メガトン級です。枚数にして5枚ものっている。『うくん反則やん』1枚食べた所で麺をひとすり。うくんこれも太麺で攻めてきた。ちよっと水をはさまないとまたないなあ。やっとスープが見えて来た。『普通はスープの中に泳いでいるのがラーメンやる。スープが見えてこないのだから前半夜は中華やき

